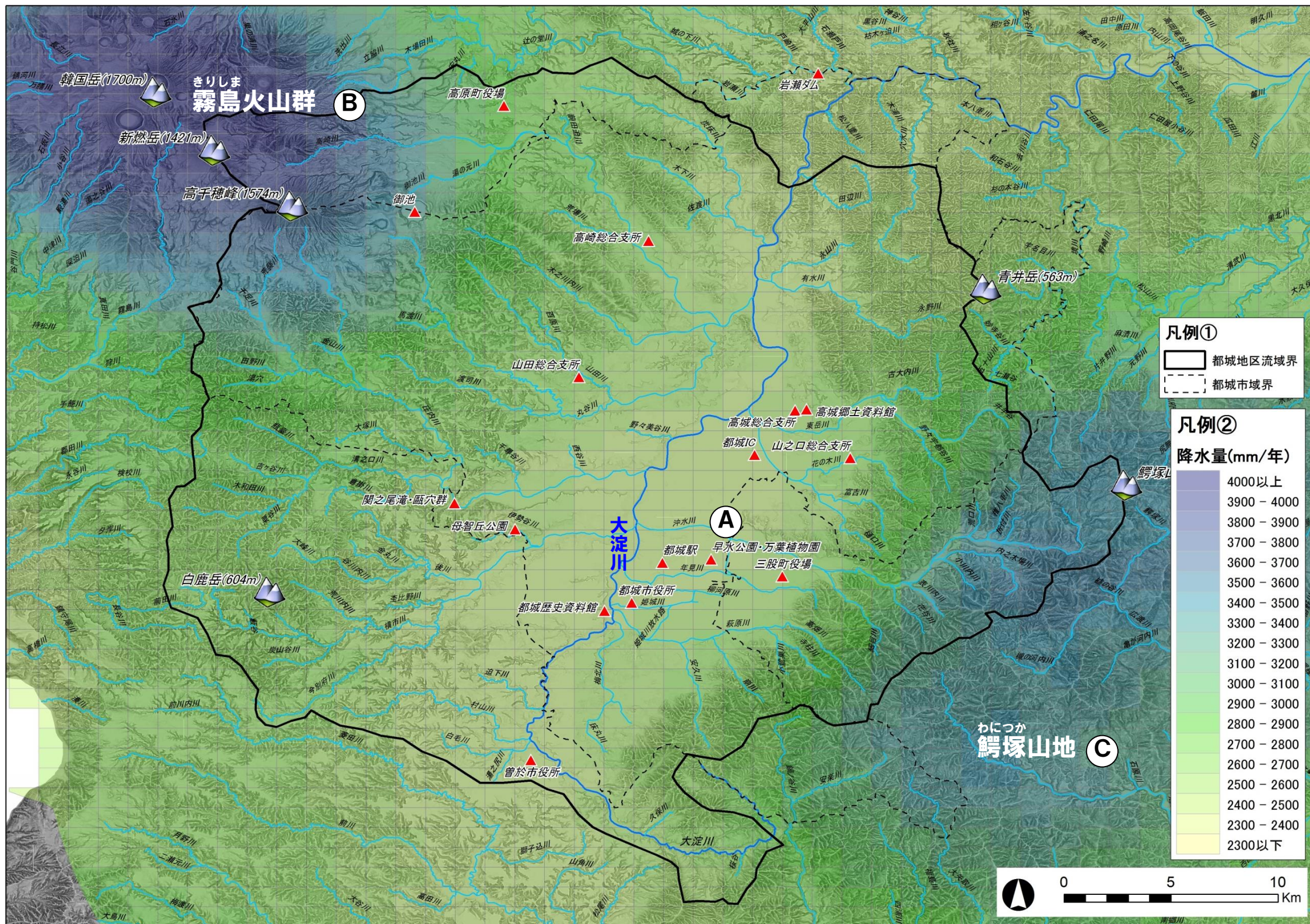
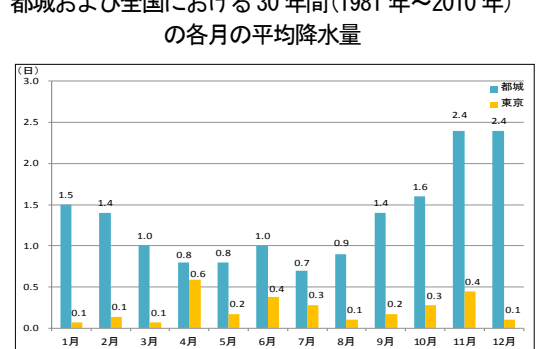
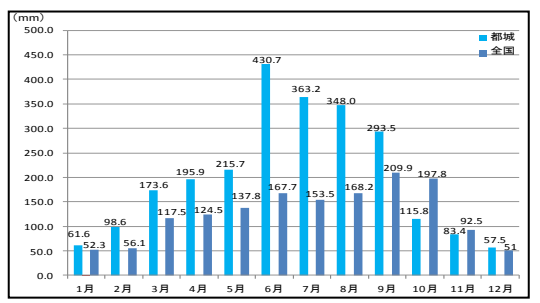
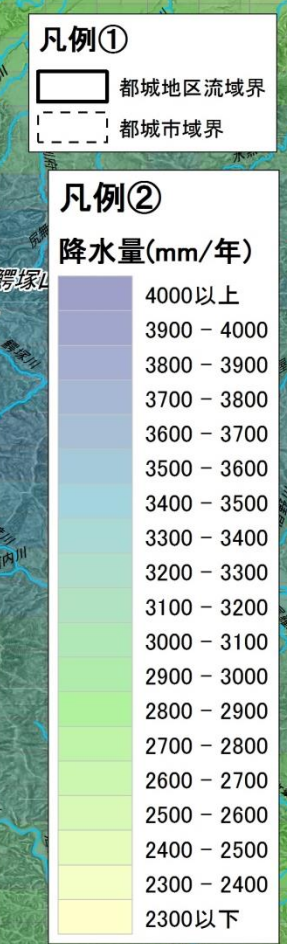


図①-3：都城地区の降水量

台風が通りやすく、東西を山に囲まれているため、全国的にみても雨が多い。また、霧も発生しやすい。



- ・都市圏Aの年平均降水量は2481.8 mm(1981～2010年の平均)であり、全国平均(1,600～1,800mm)よりも多く、国内でも降水量の多い地域です。
- ・霧島火山群B、鰐塚山地Cの降水量は盆地中央部の低地に比べて多く、山地に降った雨が地表や地中を流れて盆地中央に供給されています。
- ・特に霧島火山群Bの降水量は約4,400mmになり、平地の都市圏Aの1.5倍以上に達します。
- ・盆地状の地形により風が吹きにくく、昼と夜で気温差が大きいため、霧が発生しやすい条件となっています。
- ・霧の年間発生は、都城では年間約16日に対して、東京では約3日になります。



凡例名	データ名/資料名	データ/資料入手先
降水量	国土数値情報 平年値(気候)メッシュ	国土交通省国土政策局国土情報課
行政界	国土数値地図 行政区域	国土交通省国土政策局国土情報課
河川	国土数値地図 河川	国土交通省国土政策局国土情報課
背景図	基盤地図情報(数値標高モデル)	国土地理院

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(承認番号 平28情使、第1268号)」

△注意！ 必読のこと！！ 本資料中の説明は、あくまでも説図の一例であって、確定的な分析ではありません。実際の利活用にあたっては、地元の地形・地質や地下水等に詳しい専門家の助言や監修を受けるようにして下さい。